

令和 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・
指定都市名

地域名

人権課題

各組織の動き・役割等

校種間連携の
概要地域との連携
の概要

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・
指定都市名

〇〇県

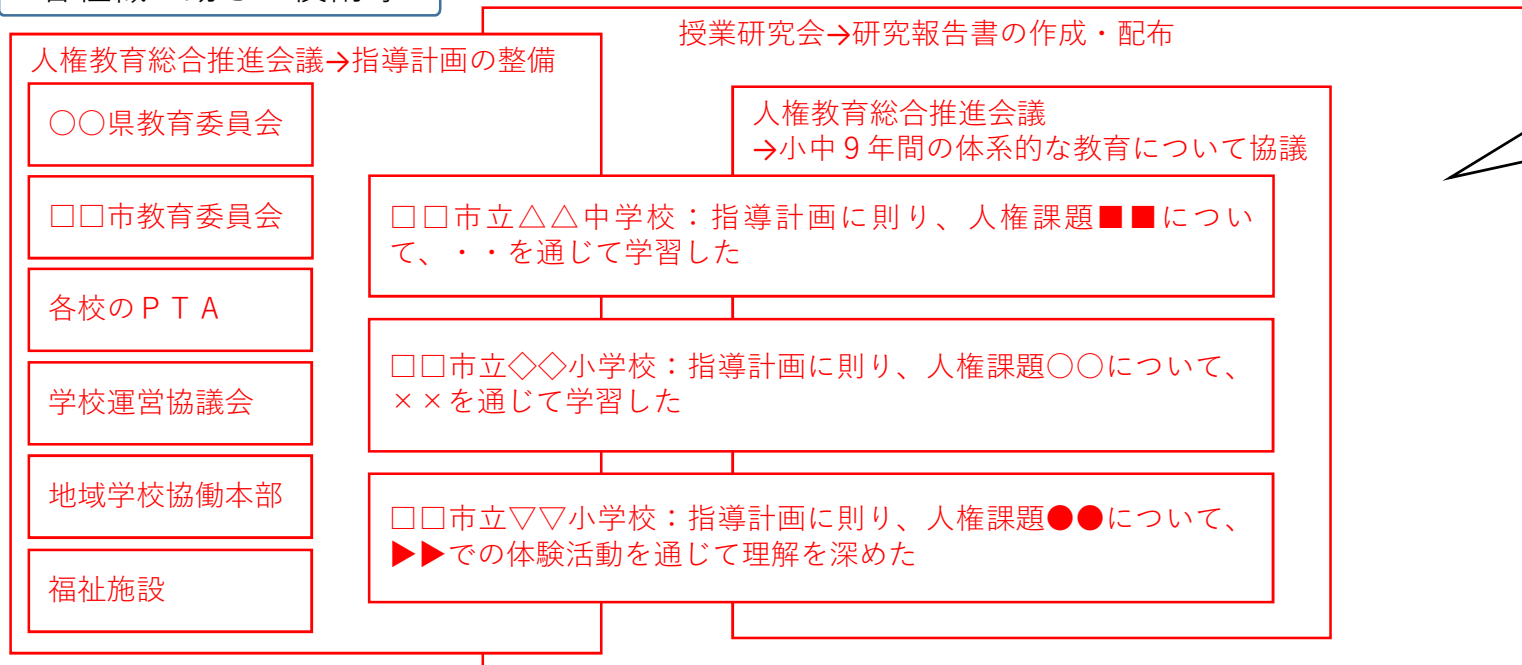
地域名

□□市・△△中学校区

人権課題

同和問題、アイヌの人々、外国人、ハンセン病患者等

各組織の動き・役割等



推進地域内の各組織
が何を行ったのか、
関係性等がわかるよ
うに適宜説明文を入
れながら図示するこ
と。

校種間連携の
概要

・小・中学校の連携のために研修主任を中心とした学校教育部会を設置し、人権課題について小・中学校9年間の体系的な教育を見通した協議を行った。結果、小学校では〇〇について、中学校では△△について学習し、××の力を伸ばすこととした。

地域との連携
の概要

・小学校、中学校、PTA、学校評議員、福祉施設及び教育委員会等で構成された人権教育総合推進会議において、9年間を見通した指導計画の整備を行った。地域の「●●●●」という声を指導計画の中に◆◆として反映した。

令和 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

学校名

人権課題

対象学年・
取り扱った教科等目標・人権教
育のねらい

実施した内容

工夫した点

他教科との
関連

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教

人権課題ごとに作成するにあたり、複数の学年・複数の教科で取り扱った場合、特に注力したものを選択して作成することも可能。複数の教科等を記載することも可能。

都道府県・指定都市名 〇〇県 学校名 ◇◇市 □□中学校

人権課題 高齢者 事業実施計画書の「3. 取り組む人権課題について」で取り組むこととした人権課題ごとに本様式を作成すること。 対象学年・取り扱った教科等 中学3年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・ 高齢者に対する偏見や思い込みを取り除き、高齢者の人権を尊重し、共に生きていく意識を育てる。
- ・ 高齢者の現状や課題、高齢者を支援し擁護している機関の取組について理解を深める。
- ・ 高齢者に対して自分たちができることを話し合い、合意形成をはかったり、意思決定したりする。
- ・ 高齢者に対する思いやりの心を持ち、親切にする意欲・態度を養う。

実施した内容

- ・ 家庭や地域での高齢者の生活の様子について話し合う。高齢者が持っている知恵や技、抱えている課題についてグループごとに詳しく調べる。(2時間)
- ・ 社会福祉協議会から高齢者の人権課題や取り巻く状況などについて話を聞く。高齢者の疑似体験を行い、高齢者に対する理解を深める(3時間)
- ・ 調べ学習や体験を通して学んだことをまとめ、交流する。自分たちにできることを考える。

工夫した点

- ・ 話し合いの際に、高齢者の様子について、詳細な情報について聞かないようにするなど、個人情報への取扱いに注意する。マイナス面だけでなく、プラス面に目を向け、意見を出させるようにする。
- ・ 活動にあたり、人権教育に視点をあてた評価の基準(「体験を通し、高齢者の思いに気づいている」、「自分たちにできることやと留依君で行きたいことを考え、発表しようとしている」など)を設定した上で行った。

他教科との関連

- ・ 社会科にて、基本的人権について学習した。